

令和2年度（2020年度）

みんなの川の環境調査

- 川の生き物と水質を調べてみよう -

報告書

令和3年（2021年）6月

熊本県環境生活部環境局環境保全課

はじめに

本報告書は、環境を守ることに関心のある団体や学校等が身近な河川等において、指標となる生物や水質等の水環境調査を実施した結果をとりまとめたものです。

河川等の水質を改善するためには、汚れのもととなる物を流す工場・事業場や一般家庭等からの排水対策も必要ですが、それとともに地域の人々が水に対し関心を持ち、水を汚さないよう意識していただくことが重要です。また、今日では、これまで私たちが忘れかけていた自然とのふれあいや水辺での遊び、水生生物の生息環境の保全などを求めようという志向が高まっており、いわゆる快適な「水環境」を保全する必要があります。

このような背景から、県では平成6年度（1994年度）に水質調査、川底調査、底生動物調査の3部門からなる啓発用テキスト「川の水環境・調査のてびき」を作成し、身近な水環境を保全するための啓発に努めてきました。これは河川の底生動物25種を指標生物として選定し、水環境を「：快適な水環境」、「：親しめる水環境」、「：不快を感じない水環境」、「：多少不快な水環境」及び「：不快な水環境」の5段階で評価する「熊本県方式」となっています。

底生動物の生息状況を見ると、底生動物は自分の餌を確保する場所が必ず必要であり、また、自らの身を守るために石ころや泥を必要とすることもあります。特に水生昆虫では、水中から離れた水辺が繁殖の場である場合もあり、水質の快適さのみではなく、水温、水生植物、水辺環境等多くの要因が加わり、総合的な水環境と関わりながら生息していることが分かります。こういったことから、本調査においては単に「水質」ではなく「水環境」という表現を用いています。

最後に、本書をまとめるに当たり、調査に参加いただいた環境保全団体、学校や調査指導協力をしていただいた関係機関の皆様に御礼申し上げます。

令和3年（2021年）6月

熊本県環境生活部環境局環境保全課

目 次

. 調査の目的、方法、結果の概要	1
. 各団体の調査結果	6

調査の目的、方法、結果の概要

1 調査の目的

水質検査がその瞬間の水の状態を評価する方法であるのに対し、川に棲む水生生物（底生動物）の種類や数を調べると、より長期的な水環境を知ることができます。また、底生動物の調査には特殊な器材も不要なため、比較的簡単に実施できるという利点があります。

本調査は、環境保全団体や学校等（以下、「環境保全団体等」とする。）が「水生生物調査」や「水質の簡易調査（パックテスト）」を実施することにより、身近な川の水環境についての関心を高め、地域における水環境保全活動を支援することを目的に実施しました。

2 調査方法

熊本県が作成した「川の水環境・調査のてびき」（平成7年3月発行、平成23年10月改訂、熊本県環境生活部環境局環境保全課）に準じ、水環境の快適さを表 - 1 に示す5段階とし、川の地形と流域の土地利用状況（評価基礎点）、水質、川底、底生動物の4項目の評価を実施しました。

なお、調査は環境保全団体等が自ら企画し、県環境保全課及び管轄保健所等と協力して実施しました。

3 調査結果の概要

環境保全団体等14団体がこのべ16地点で調査を実施し、このべ351人が参加しました。調査実施団体等の内訳は、環境保全団体関係が3団体、学校関係が11団体でした。

新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、令和2年度は例年より参加者が減少しています。

指標生物及び簡易水質調査結果（表 - 2）

生物から見た水環境評価では、調査地点11地点中、評価値「快適な水環境」が3地点、評価値「親しめる水環境」が4地点、評価値「不快を感じない水環境」2地点、評価値「多少不快な水環境」が1地点、評価値「不快な水環境」は1地点と多くの地点において比較的良好な結果が得られました。

一方、水質から見た水環境評価では、調査地点15地点中、評価値「快適な水環境」が9地点、評価値「親しめる水環境」が5地点、評価値「不快を感じない水環境」が1地点、評価値「多少不快な水環境」が0地点、評価値「不快な水環境」は0地点でした。

調査を実施した16地点中、生物または水質の水環境評価に必要な項目が全てそろっている地点のみの集計としています。また、環境保全団体等の個々の調査結果等を6ページ以降に示しました。

表 - 1 川の水環境の快適さの表現（評価値）

階級	川の水環境の快適さ	例えば（感じることなど）
	快適な水環境	清冽な水の冷たさを感じる さわやかに自然を楽しめる ヤマメ、タカハヤが生息している
	親しめる水環境	水泳や水遊びができると感じる 水や水辺がこちよく感じる アユ、ウグイ、カワムツが生息している
	不快を感じない水環境	素足で水の中に入れると感じる 川面や水辺に親しみを感じる ヨシノボリ、オイカワ、コイが生息している
	多少不快な水環境	素足では水の中に入りたくない 水辺に近づいて不快感がない程度 コイ、フナ、ナマズが生息している
	不快な水環境	きたなくて、川では遊べないと感じる 水辺に近よりたいと感じない

表 - 2 令和2年度(2020年度)における県内の団体の参加状況及び調査結果

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数(のべ)	調査日	水質評価	生物評価
1	1	生物&水質	菊池管内環境活動協議会 菊池市立泗水東小学校	日向川	菊池川	菊池市	菊池市泗水町永	55	10月31日	I	I
2	2	生物&水質	豊野町みどりの少年団	浜戸川	緑川	宇城市	宇城市豊野町山崎	14	9月20日	I	Ⅲ
3	3	生物&水質	本渡南小学校5年1組	町山口川		天草市	天神橋(天草高校前)上流	30	10月2日	II	II
4		生物&水質	本渡南小学校5年2組	町山口川		天草市	天草高校正門前下流	32	10月2日	II	II
5		生物&水質	本渡南小学校5年3組	町山口川		天草市	天神橋(天草高校前)下流	32	10月2日	II	V
6	4	生物	宇城市立青海小学校	湯殿川		宇城市	旧郡浦小学校裏	12	10月15日		II
7	5	生物&水質	苓北町立志岐小学校 5年生	志岐川		苓北町	八竜橋付近	33	10月27日	II	II
8	6	生物&水質	苓北町立坂瀬川小学校 5年生	小路川		苓北町	坂瀬川小学校横	13	10月30日	I	I
9	7	生物&水質	苓北町立富岡小学校 5年生	中山川		苓北町	袋池上流	10	10月30日	Ⅲ	IV
10	8	生物&水質	苓北町立都呂々小学校 5年生	舞子川		苓北町	舞子橋付近	3	10月27日	II	I
11	9	生物&水質	スタディライフ熊本 芳野小学校 河内小学校 4、5年生	河内川	河内川	熊本市	金峰森の駅みちくさ館横	16	9月19日	I	Ⅲ
12	10	水質	菊池管内環境活動協議会 大津北小学校 4年生	地下水		大津町	大津町平川地区	15	10月6日	I	
13		水質		通潤用水	緑川	山都町	円形分水工	15	10月6日	I	
14		水質		平川	菊池川	大津町	大津北小学校近くのリフレッシュ広場付近	15	10月6日	I	
15		水質		矢護川	菊池川	大津町	矢護川公園	15	10月6日	I	
16	11	水質	八代小学校	前川	球磨川	八代市	川の交流広場	41	10月22日	I	
								環境団体等	3		
								学校関係	11		
								のべ調査地点	16		
								のべ調査人数	351		

水系	合計
緑川	2
白川	0
菊池川	3
球磨川	1

調査結果	水質	生物
I	9	3
II	5	4
Ⅲ	1	2
IV	0	1
V	0	1
合計	15	11

表中の記載内容は、各調査団体が提出した報告書から分かる範囲で記載しています。

- 階級 : 快適な水環境
- 階級 : 親しめる水環境
- 階級 : 不快を感じない水環境
- 階級 : 多少不快な水環境
- 階級 : 不快な水環境

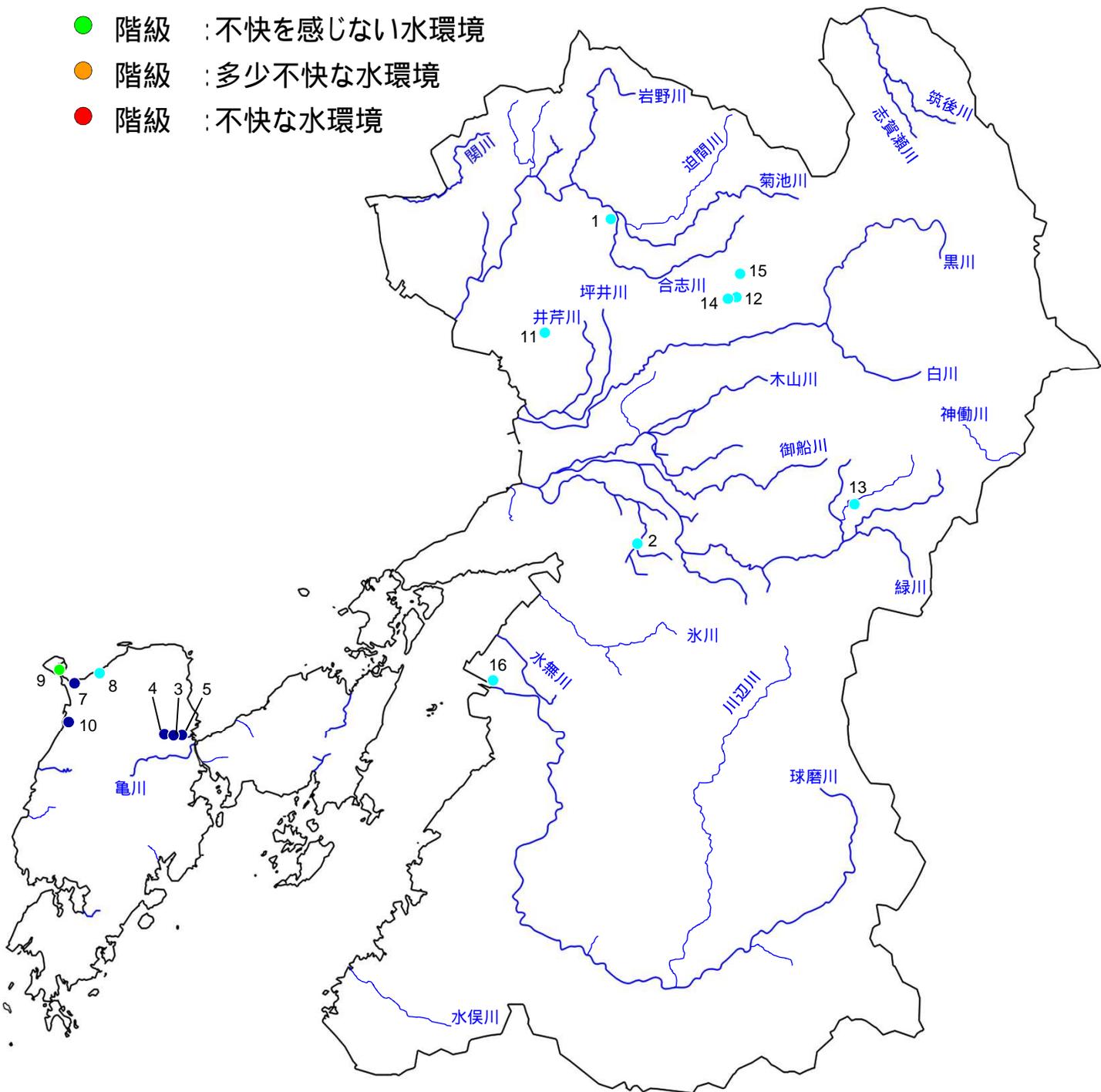


図 - 1 水質評価結果マップ

- 階級 : 快適な水環境
- 階級 : 親しめる水環境
- 階級 : 不快を感じない水環境
- 階級 : 多少不快な水環境
- 階級 : 不快な水環境

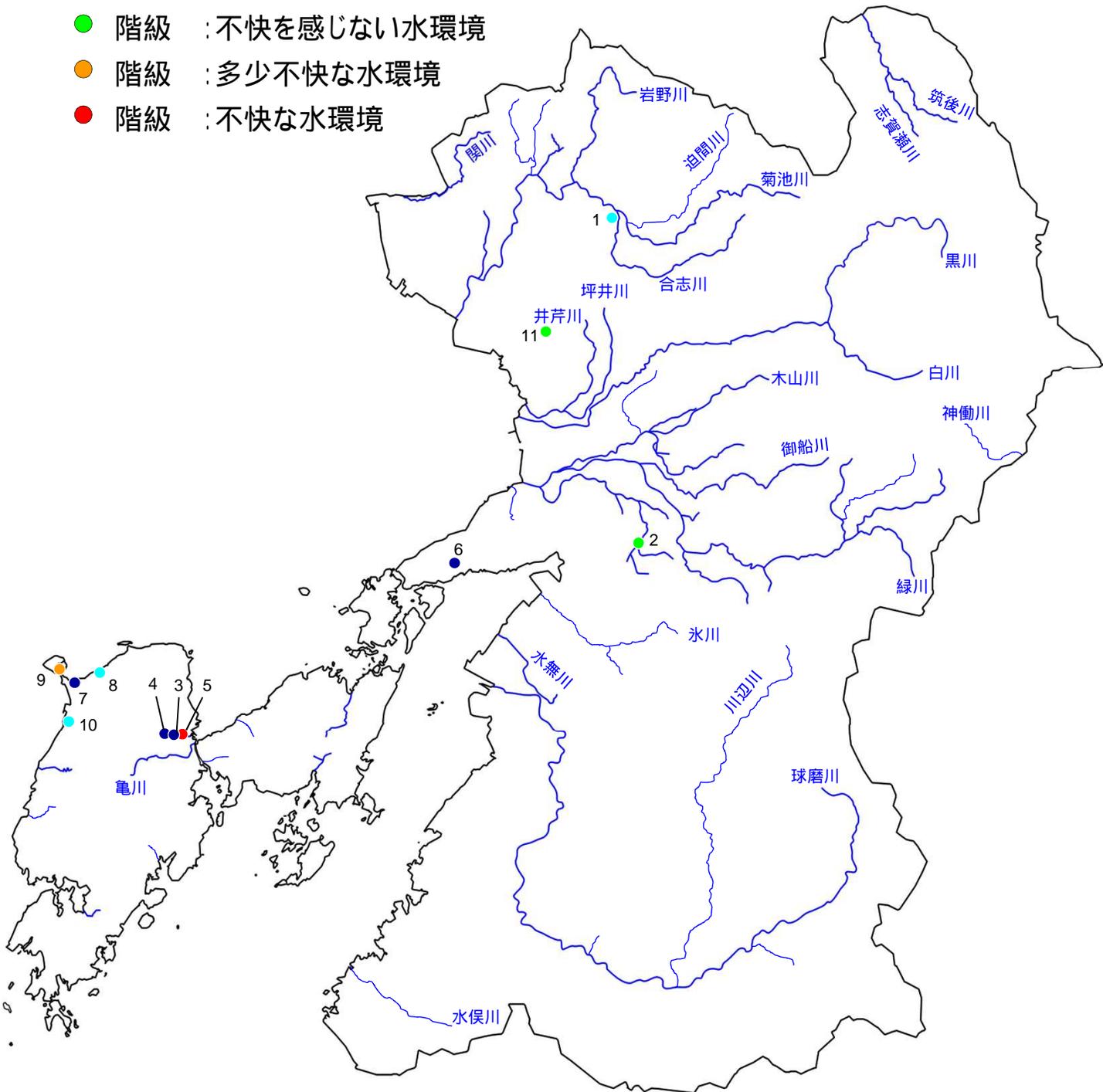


図 - 2 指標生物評価結果マップ

各団体の調査結果

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	日向川 (水系 合志川)		
調査地点名	菊池市泗水町永		
調査団体名	菊池市立泗水東小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名	参加人数	55 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和2年10月31日	調査時間	9時00分～11時30分
調査日天候	晴	気温	28 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点	$(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級 IV		

2. 水質を調べる

水温	15 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5～8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点	$(a+b+c+d+e)/5 = 1$ 点 階級 I		

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点	$(f+g+h+i+j)/5 = 1.8$ 点 階級 III		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

エビ類やサワガニが多く採取できたことから、きれいな川になっていると感じた。



年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 1

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快適な水環境(Ⅰ)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ						
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●					
	7. ヒラタカゲロウ類	○					
親しめる水環境(Ⅱ)	8. ウズムシ類(プラナリア)						
	9. ヘビトンボ類		○				
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
不快を感じない水環境(Ⅲ)	13. カワニナ			○			
	14. ヒラタドROMシ						
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)						
多少不快な水環境(Ⅳ)	18. 貝類				○		
	19. サホコカゲロウ				○		
	20. ミズムシ(等脚目)				○		
	21. ヒル類						
	22. サカマキ貝						
不快な水環境(Ⅴ)	23. イトミズ類					○	
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	3	2	3	1
	最も多い種の数(●)	1					
得点の合計		6	3	2	3	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	浜戸川・小熊野川合流点 (水系 緑川)		
調査地点名	宇城市豊野町山崎		
調査団体名	豊野町みどりの少年団		
代表者名	参加人数	14 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和2年9月20日(日)	調査時間	午前9時30分
調査日天候	晴れ	気温	24 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
V	不快な水環境	3.0	3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	22 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1$ 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらた 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	2. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 2$ 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくその後で便利です。

ヌマエビの仲間
 ハエ(オイカワ)の子ども
 ハグロトンボ
 モンシロチョウ
 クロアゲハ
 アゲハ

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. _____

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類 (プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類 (白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ (等脚目)					
	21. ヒル類					●
	22. サカマキガイ					
不快な水環境 (V)	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ (赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数 (○+●)	3	3	4	1
	得点の集計	最も多い種の数 (●)				1
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	町山口川 (水系)		
調査地点名	天神橋(天草高校前)上流		
調査団体名	天草市立本渡南小学校5年1組		
代表者名		参加人数	30人
連絡先住所	〒		
	電話: - - ()		
調査年月日	令和2年10月2日	調査時間	11:40
調査日天候	晴れ	気温	29.0 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	24.5 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	2. 臭いあり	
c. 透視度	1. 30cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	2. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.6点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

・海の香

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. _____

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	●				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類		●			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				●	
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					○
	25. ホシチョウバエ					○
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	3	3	2
最も多い種の数(●)			1	1		
得点の合計		4	3	4	3	2
底生動物による川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	町山口川 (水系)		
調査地点名	天草高校正門前下流		
調査団体名	天草市立本渡南小学校5年2組		
代表者名	参加人数	32人	
連絡先住所	〒		
	電話: - - ()		
調査年月日	令和2年10月2日	調査時間	15:35
調査日天候	晴れ	気温	29.0 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	24.5 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.6点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. _____

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	●				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ		●			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				●	
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					●
	25. ホシチョウバエ					●
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	3	3	2
	最も多い種の数(●)			1	1	
	得点の合計	4	3	4	3	2
底生動物による川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	町山口川 (水系)		
調査地点名	天神橋(天草高校前)下流		
調査団体名	天草市立本渡南小学校5年3組		
代表者名		参加人数	32人
連絡先住所	〒 電話: - - ()		
調査年月日	令和2年10月2日	調査時間	8:40
調査日天候	晴れ	気温	23.0 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 3.0点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	21.0 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	2. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	2. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.6点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	2. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.2点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

・海水のにおい

・ふぐがいる

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. _____

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	■				
	2. ナガレトビケラ類	■				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	■				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	■				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	■				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		■			
	10. マダラカゲロウ類		■			
	11. タニガワカゲロウ類		■			
	12. ブユ類・ガガンボ類		■			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			■		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			■		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			■		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ				■	
	20. ミズムシ(等脚目)				■	
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					■
	23. イトミズ類					●
	24. セスジユスリカ(赤)					○
	25. ホシチョウバエ					■
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	1	2	2
最も多い種の数(●)						1
得点の合計		2	1	2	2	3
底生動物による川の水環境評価の判定		V				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	湯殿川 (氷室)		
調査地点名	旧郡浦小学校裏		
調査団体名	宇城市立青海小学校		
代表者名	参加人数	12人	
連絡先住所			
調査年月日	R2.10.15	調査時間	14~15時
調査日天候	晴	気温	℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
① 評価基礎点 $(A+B)/2 = 2$ 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	② 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
② 水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 =$ 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	② 平瀬	
f. 石の状態	① 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③ 川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 1.2$ 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 6

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
1.カワゲラ類 2.ナガレトビケラ類 3.ヒゲナガカワトビケラ 4.チラカゲロウ 5.携巢性トビケラ類 6.ニッポンヨコエビ サワガニ 7.ヒラタカゲロウ類	1. カワゲラ類	■				
	2. ナガレトビケラ類	■				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	■				
	4. チラカゲロウ	■				
	5. 携巢性トビケラ類	■				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類	■				
8.ウズムシ類 9.ヘビトンボ類 10.マダラカゲロウ類 11.タニガワカゲロウ類 12.ブユ類・ガガンボ	8. ウズムシ類(プラナリア)		■			
	9. ヘビトンボ類		■			
	10. マダラカゲロウ類		●			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類		■			
13.カワニナ 14.ヒラタドROMシ 15.コカゲロウ類 16.コガタシマトビケラ 17.ユスリカ類(白・緑)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドROMシ			●		
	15. コカゲロウ類			■		
	16. コガタシマトビケラ			■		
	17. ユスリカ類(白・緑)			■		
18.貝類 19.サホコカゲロウ 20.ミズムシ(等脚目) 21.ヒル類	18. 貝類				●	
	19. サホコカゲロウ				■	
	20. ミズムシ(等脚目)				■	
	21. ヒル類				■	
	21. ヒル類				■	
22.サカマキ貝 23.イトミミズ類 24.セスジユスリカ(赤) 25.ホシテョウバエ	22. サカマキ貝					●
	23. イトミミズ類					■
	24. セスジユスリカ(赤)					■
	25. ホシテョウバエ					■
	25. ホシテョウバエ					■
得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	2	2	1	
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	1	3	2	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	志岐川 (水系)		
調査地点名	八竜橋付近		
調査団体名	苓北町立志岐小学校 5年生		
代表者名	参加人数	33人 (児童31人・教諭2人)	
連絡先住所	電話:		
調査年月日	令和2年10月27日	調査時間	10:45
調査日天候	晴れ	気温	24.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	18.0℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.2点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 7

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	■				
	2. ナガレトビケラ類	■				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	■				
	4. チラカゲロウ	■				
	5. 携巢性トビケラ類	■				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		■			
	9. ヘビトンボ類		■			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドROMシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			■		
	17. ユスリカ類(白・緑)			■		
水 環 境 (IV) 多 少 不 快 な	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類				○	
不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミズ類					■
	24. セスジユスリカ(赤)					■
	25. ホシチョウバエ					■
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	3	3	3
最も多い種の数(●)	0	1	0	0	0	
得点の合計		2	4	3	3	1
底生動物による 川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	小路川 (水系)		
調査地点名	坂瀬川小学校横		
調査団体名	苓北町立坂瀬川小学校 5年生		
代表者名	参加人数	13人 (児童12人・教諭1人)	
連絡先住所	電話:		
調査年月日	令和2年10月30日	調査時間	14:30
調査日天候	晴れ	気温	19.5℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 1.5点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	17.0℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.0点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 8

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ						
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類						
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ						
	7. ヒラタカゲロウ類	●					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○				
	9. ヘビトンボ類		○				
	10. マダラカゲロウ類						
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワナ			○			
	14. ヒラタドロムシ			○			
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ			○			
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水 環 境 (IV) 多 少 不 快 な	18. 貝類				○		
	19. サホコカゲロウ				○		
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類						
	22. サカマキ貝					○	
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミス類						
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	3	4	2	1
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
得点の集計	得点の合計	4	3	4	2	1	
底生動物による 川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	中山川 (水系)		
調査地点名	袋池上流		
調査団体名	芥北町立富岡小学校 5年生		
代表者名	参加人数	10人 (児童9人・教諭1人)	
連絡先住所	電話:		
調査年月日	令和2年10月30日	調査時間	11:00
調査日天候	晴れ	気温	19.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.2	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.0点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	16.0℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 2 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.8点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 9

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドROMシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水 環 境 (IV) 多 少 不 快 な	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類				○	
不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ					●
	23. イトミズ類					●
	24. セスジユスリカ(赤)					●
	25. ホシチョウバエ					●
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	1	0	3
最も多い種の数(●)	0	0	0	0	1	
得点の合計		2	1	0	3	2
底生動物による 川の水環境評価の判定		IV				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	舞子川 (水系)		
調査地点名	舞子橋付近		
調査団体名	芥北町立都呂々小学校 5年生		
代表者名	参加人数	3人 (児童2人・教諭1人)	
連絡先住所	電話:		
調査年月日	令和2年10月27日	調査時間	14:28
調査日天候	晴れ	気温	19.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.0点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	17.0℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.0点 階級 I			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 10

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		●			
	10. マダラカゲロウ類		●			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類		●			
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			●		
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ			●		
	17. ユスリカ類(白・緑)			●		
水 環 境 (IV) 多 少 不 快 な	18. 貝類				●	
	19. サホコカゲロウ				●	
	20. ミズムシ(等脚目)				●	
	21. ヒル類				●	
不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					○
	25. ホシチョウバエ					○
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	2	1	0
最も多い種の数(●)	0	1	0	0	0	
得点の合計		6	3	1	0	2
底生動物による 川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	河内川 (水系 金峰山)		
調査地点名	金峰森の駅みちくさ館横		
調査団体名	スタディライフ熊本(芳野小・河内小の4、5年生)		
代表者名	参加人数	16人	
連絡先住所			
調査年月日	令和2年9月19日	調査時間	12時
調査日天候	曇り	気温	17℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	① 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 1.5 点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	25℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	① 早瀬	ひらせ	平瀬
f. 石の状態	① 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	① すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1 点 階級 I			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 11

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	■				
	2. ナガレトビケラ類	■				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	■				
	4. チラカゲロウ	■				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	■				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		■			
	9. ヘビトンボ類		■			
	10. マダラカゲロウ類		■			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類		■			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			■		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			■		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				■	
	19. サホコカゲロウ				■	
	20. ミズムシ(等脚目)				■	
	21. ヒル類				■	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					■
	23. イトミズ類					■
	24. セスジユスリカ(赤)					■
	25. ホシチョウバエ					■
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	1	3	
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	2	2	3		
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	地下水(地域飲料水) (水系)		
調査地点名	大津町平川地区		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	15人	
連絡先住所			
調査年月日	令和2年10月6日	調査時間	14時
調査日天候	晴	気温	29℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 1.5 点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	15℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	通潤用水 (水系 緑川)		
調査地点名	円形分水工		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名		参加人数	15人
連絡先住所			
調査年月日	令和2年10月6日	調査時間	14時
調査日天候	晴	気温	29℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1 点 階級 I			

2. 水質を調べる

水温	15℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	平川 (水系 菊池川)		
調査地点名	大津北小学校近くのリフレッシュ広場付近		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	15人	
連絡先住所			
調査年月日	令和2年10月6日	調査時間	14時
調査日天候	晴	気温	29℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	20℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	矢護川 (水系 菊池川)		
調査地点名	矢護川公園		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	15人	
連絡先住所			
調査年月日	令和2年10月6日	調査時間	14時
調査日天候	晴	気温	29℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	18 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	前川 (水系 球磨川)		
調査地点名	川の交流広場 (市 蛇籠町)		
調査団体名	八代小学校		
代表者名	人数	4 / 人	
連絡先住所			
調査年月日	R2年10月22日	調査時間	14時30分
調査日天候	雨	気温	℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 3 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	21.0 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	旱瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1 点 階級 I			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

熊本県環境生活部環境局環境保全課
〒862-8570
熊本市中央区水前寺六丁目 18 番 1 号
電話 096-333-2271
E-mail: kankyouhozen@pref.kumamoto.lg.jp
ホームページ
http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_583.html

発行者：熊本県 所 属：環境保全課 発行年度：令和3年度 (2021年度)
--

～ 本書は再生紙を使用しています～